

経営比較分析表（令和6年度決算）

京都府 福知山市

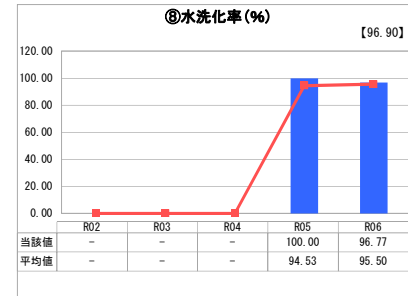
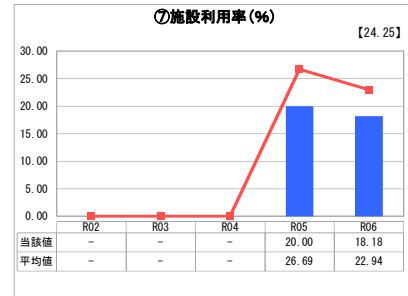
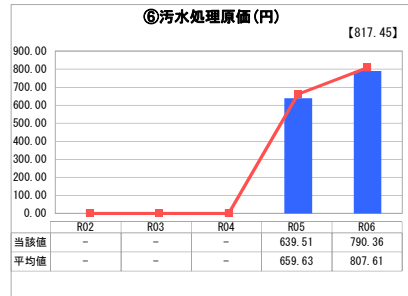
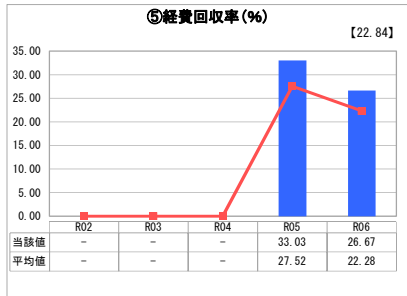
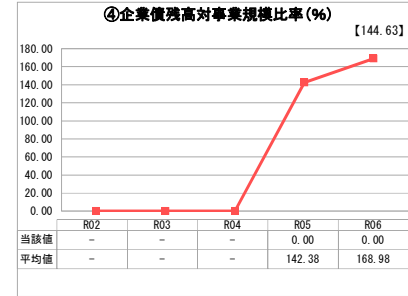
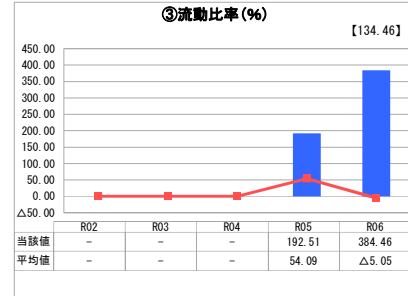
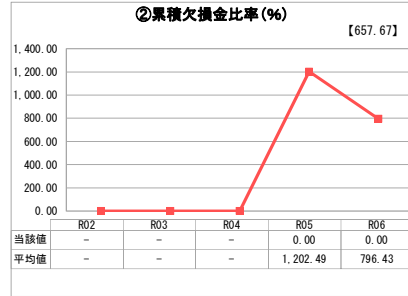
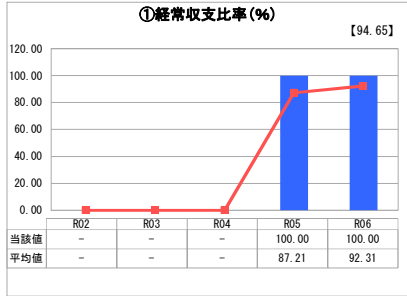
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	簡易排水	J2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	92.33	0.04	100.00	3,718

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
74,540	552.54	134.90
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
31	0.05	620.00

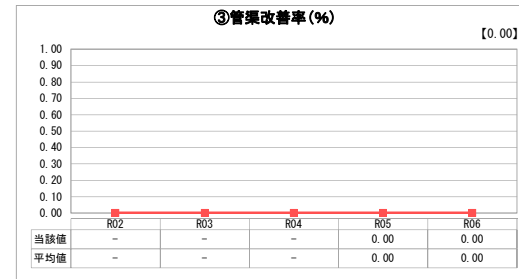
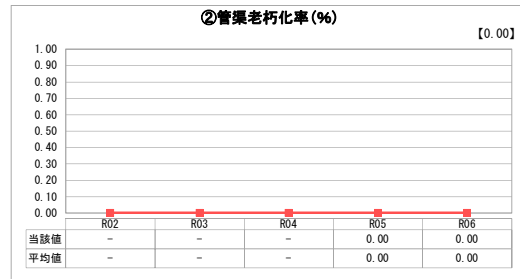
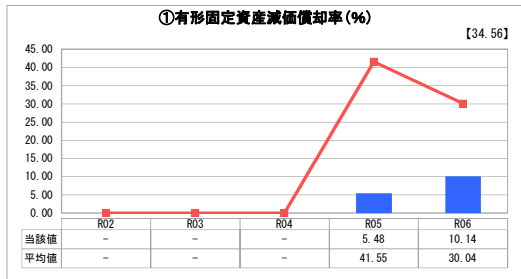
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率は、100%である。費用を使用料と一般会計繰入金で補っている状況である。
- ②累積欠損金は、発生していない。
- ③流動比率は、前年度比191.95ポイント増で、100%を上回っており、支払能力は備わっている状況である。これは、一般会計繰入金が増加したことにより現金預金が増加したためである。
- ④企業債残高対事業規模比率は、類似団体の平均値を下回っている。
- ⑤経費回収率は、前年度比6.36ポイント減で、100%を下回り、必要な経費を使用料により賅っていない状況である。これは、施設の維持管理に係る汚水処理費が増加したことに加えて、下水道使用料が減少したためである。今後は維持管理経費等に注視しつつ、業務改善を図っていききたい。
- ⑥汚水処理原価は、前年度比150.85ポイント増であるものの、類似団体の平均値を下回っている。これは、施設の維持管理に係る汚水処理費が増加したことに加えて、年間有収水量が減少したためである。処理区域内人口の減少に伴い、有収水量が減少することから、今後も汚水処理原価の増加が見込まれる。
- ⑦施設利用率は、類似団体の平均値を下回っている。これは、処理区域内の人口減少が要因である。
- ⑧水洗化率は、類似団体の平均値を上回っている。山村等の中山間地域において、地域の活性化と定住促進に寄与している。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率は、類似団体の平均値を大きく下回っているため、施設全体の老朽化の度合いは低いと言える。
- ②管渠老朽化率は、0%である。耐用年数を超えて使用しているものはなく、健全な状態を維持できている。
- ③管渠改善率は、0%である。これは供用開始からの年数が浅く、標準耐用年数が経過するまで期間があるためである。

全体総括

本市の簡易排水施設事業の施設整備は完了しており、現在は施設の維持管理に取り組んでいる。処理区域内人口や有収水量が少ないため、汚水処理原価が高い傾向にある。
簡易排水施設は小規模ではあるが、欠かすことのできない重要な施設であることから、適正な維持管理を行い、今後も引き続き経営の健全化に努める必要がある。
また、令和5年4月より地方公営企業法の全部適用を行った。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。